

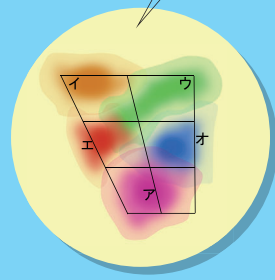
そもそもなぜ、 日本人の英語は通じない？

それは、日本語と英語の **音の数** が違うからです。

たとえば母音 (あいうえおの仲間) の数は
日本語と英語でこんなに違います。

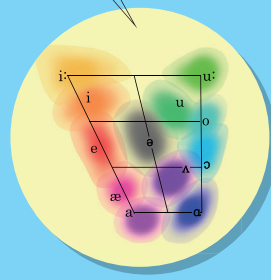
日本語母音

5 個



英語母音

約 14 個



日本語は世界で最も
「音の数が少ない」言語のひとつです。



日本語

70 個



英語

600 個



中国語

2000 個



韓国語

600 個

発音の違いをはっきりと知り、そのメカニズムを学習しなければ、
英語のおよそ9割近くは認識できません。



導入方法はカンタン！

学校のPCにインストールする必要はありません！

タブレットPCや携帯端末とネット環境あれば、いつでも学習できます！

インターネット環境であればどこでも使えます！

おすすめの端末や利用環境をサポートします！

家でも、学校でも、ログインすれば続きからできます！

1名様から導入いただけます！

■主な導入実績

その他エンジンの部分のご採用

カシオ計算機

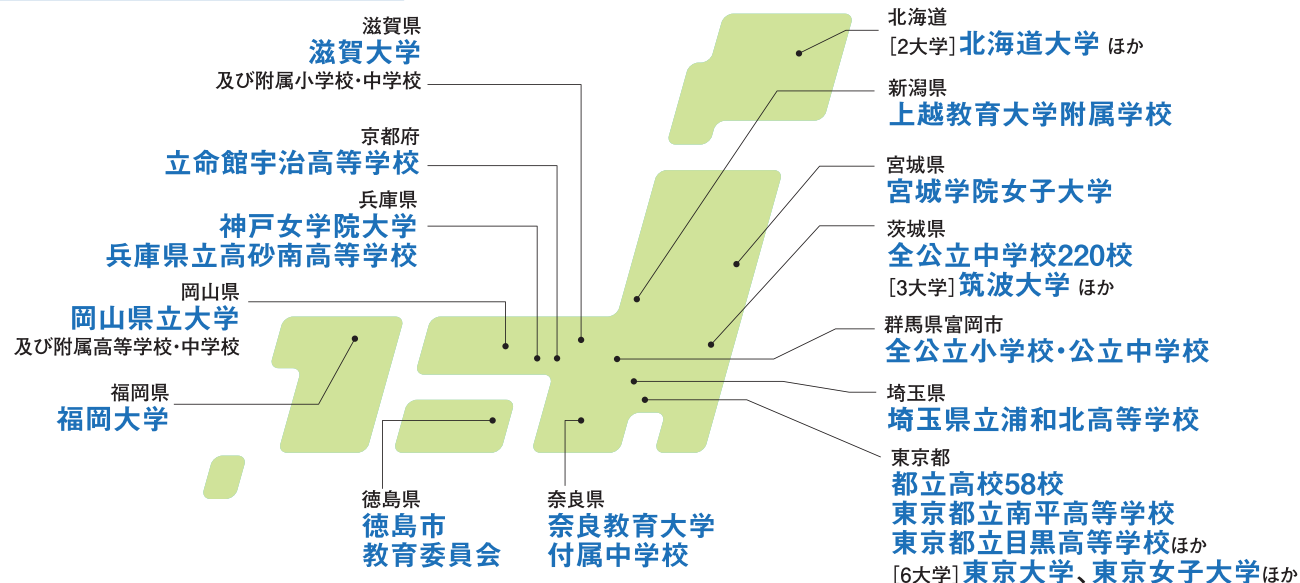


Lesson Pod / Exword / Exword Rise

東京書籍株式会社 様
開隆堂出版株式会社 様
神田外語キッズクラブ 様
学友社 様

※Exword一部機種除く

全国で
ご採用頂いております！



国立研究開発法人 産業技術総合研究所技術移転ベンチャー

株式会社プロンテスト

〔東京事務所〕 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル7階

TEL:03-5577-6035

〔本社〕 〒305-0045 茨城県つくば市梅園2-25-18

PRONTEST Inc.

✉ info@prontest.co.jp

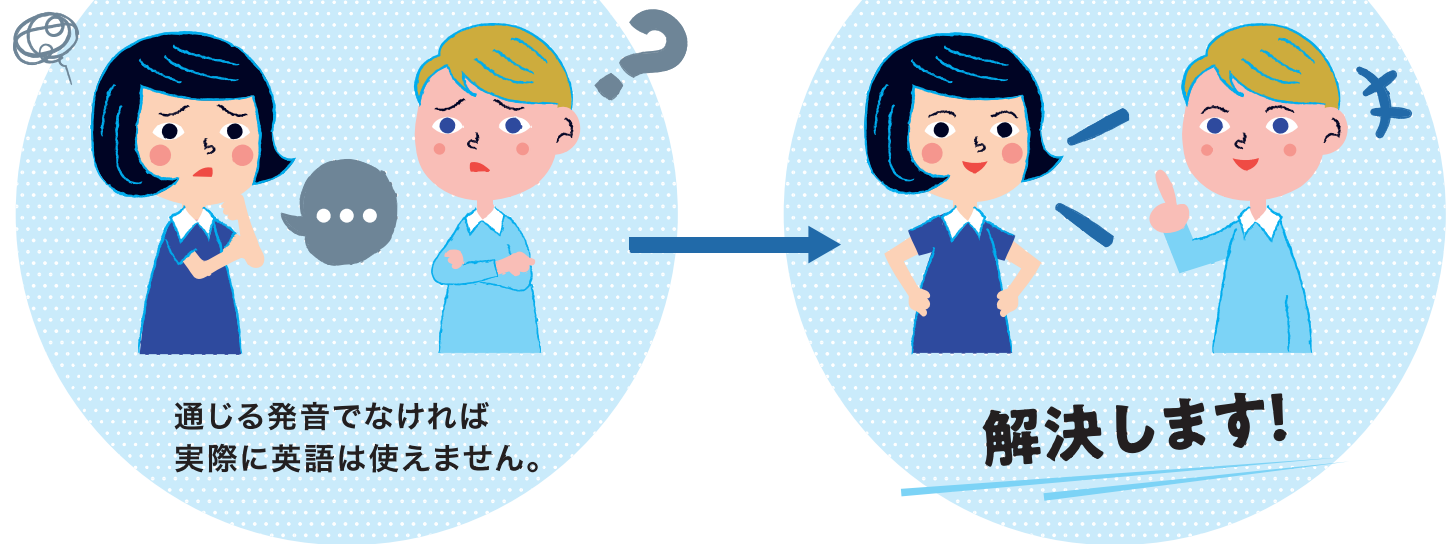
プロンテスト |



<https://www.prontest.co.jp>



通じる発音で、 使える英語へ。



通じる発音でなければ
実際に英語は使えません。

解決します！

英語4技能の土台は正しい発音にあります

英語の基礎は音読から始まりますが、カタカナ英語を定着させる原因ともなるので、正しい英語の音を認識させなくてはなりません。
正しい発音で練習**(Speaking)**をすると、聞く力**(Listening)**が身に付きます。正しい発音で音読**(Reading)**していると、スペルと音が結びつき、書く力**(Writing)**が身に付きます。この正しい音読の繰り返しで、自然に『正しい文法』が身に付いていくのです。

調音器官の使い方を具体的に直す必要があります

正しい発音は真似をするだけでは定着しません。多くのリスニング教材にある「聞くだけ」の練習では、ネイティブ同様に聞き取れるようになるまでに**1000時間**かかるといわれています。
正しい発音には、口の中の状態(くちびる、舌、歯など)をどのようにすればよいかをチェックしながら練習していく必要があります。

通じる発音を定着させ、アクティブ・ラーニングを効果的に導く学習法とは？

英語 は **聞き取れなければ 話せません！**

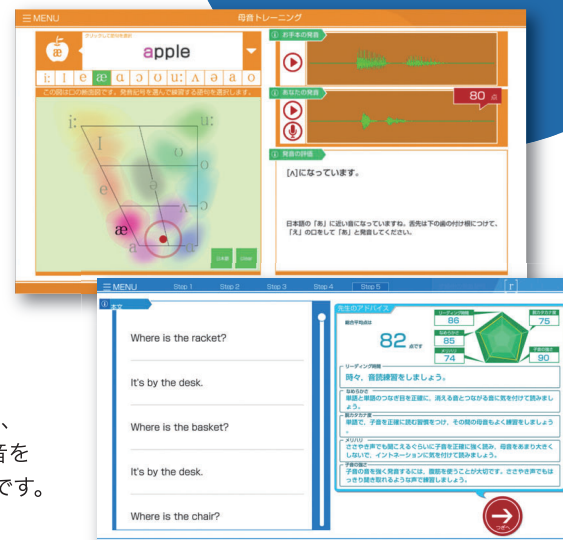
英会話・英語学習の基礎である
発音・文法・スピーキングを身につけるアプリ

pronテストシリーズ
PRONTEST SERIES

発音判定・指導
PRONTEST[®]エンジン

PRONTEST[®]エンジンは、調音音声学に基づいて、口の中の状態を自動的に判定し、言語における発音を調音器官(歯、唇、舌)レベルで評価・指導する技術です。

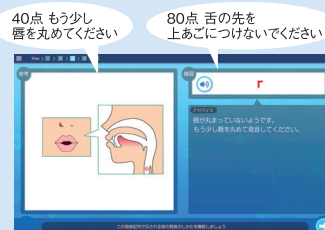
口の中の状態まで分析する、
PRONTESTエンジン搭載！
(国研)産総研との共同特許取得



発音のコツを教えます！

✓ 発音チェック機能

その音を発音したときの「舌、歯、上あご」の位置関係や唇の形など口の中の状態を指摘し、具体的にどのようにすれば正しい発音になるかを教えてくれます。



正しくなめらかな英語に上げます！

✓ リンキング練習

「リエゾン法」により、単語と単語のつながり方、音が変化したり消えたりするパターンを具体的に練習し、より英語らしい音読ができるようにします。



口の中の状態を「見える化」します！

✓ 母音チェック機能

口の中をモデル図にした「母音の台形」の中に、リアルタイムであなたの発音がポイントで表示され、舌の位置や唇の形、口を縦にどのくらい開くか、などを具体的に指導してくれます。



✓ 文章判定機能

学習者の英語がどのくらい「英語らしく音読」できているかをチェックします。たとえば、音節の数や音の質を分析してカタカナ英語に近いかどうかを判定したり、子音がどれくらい英語の子音らしく発音できているか、単語のつながりなどのくらいなめらかに読めているか、など。



✓ リスニング機能

どのくらい発音の違いが聞き取れているか、などのチェックをします。リスニングができると、単語を正しいスペルで覚えることができるようになります。

✓ スペリングチェック機能

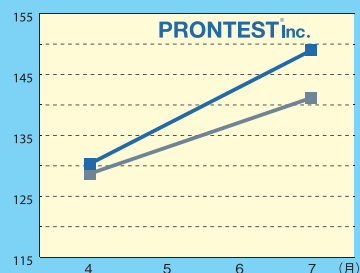
聞き取った単語や文章を、正確に書けるかどうかをチェックします。英語をそのまま音として記憶する訓練ができ、会話練習にも役立ちます。

導入効果 1 青山学院大学 経済学部での実験結果

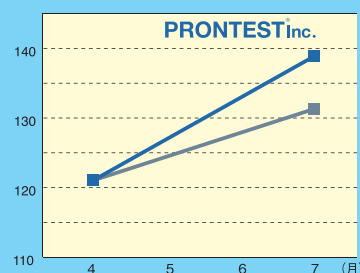
5時間でリスニングに差がつく！

pronテスト「発音力」以外の条件を同じにした二つのクラスの比較実験しました。

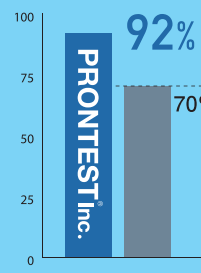
◆リスニングテスト



◆ディクテーション



◆上達、改善した割合



10レッスン=5時間で
20%の差が出ました！

pronテストを使用したグループ

通常の授業+「発音力」を毎回30分ずつ10レッスン

pronテストを使用しないグループ

通常の授業+プレゼンテーションの練習時間を追加

導入効果 2 授業での活用アンケート (H24年茨城県教育委員会集計)

茨城県の全公立中学校で導入！

茨城県では全ての公立中学校に、pronテストの「発音検定ジュニア」が導入されています。

